

僕が広島に行って学んだこと

糸魚川中学校 2年1組 渡邊 凜人

1 はじめに

僕の広島派遣研修の目当ては2つありました。1つは、戦争の悲惨さを知ること、もう1つは、他の中学校の人と交流することです。そのために見学などでは、真剣に見たり、聞いたりして、しっかり学ぶこと、3日間を通して一緒に行った仲間と良いコミュニケーションを取ることを心がけました。

このレポートでは特に心に残った研修内容をまとめ、研修を通して感じたことを伝えます。

2 大和ミュージアム

大和ミュージアムは、戦艦大和が作られた呉市にある博物館です。中には戦艦大和の10分の1のサイズの戦艦大和や、たくさんの戦争に使われたものが展示されていました。戦艦大和は10分の1スケールですが、とても大きかったです。

3 平和記念式典

平和記念式典は、8月6日の朝8:00から、広島平和記念公園で行われました。岸田首相や、国連のグテーレス事務総長などが核兵器の廃止と、戦争の根絶について語っていました。僕が特に心に残った言葉が、こども代表の「平和への誓い」です。家に帰り、式典のパンフレットでスピーチの全文を改めて読み直してみました。「本当の強さとは、違いを認め、相手を受け入れること、思

いやりの心を持ち、相手を理解しようとする事です。本当の強さをもてば、戦争は起こらないはずです。」本当にその通りだと思います。

4 平和記念公園見学

平和記念式典が終わった後は、平和記念公園を見学しました。平和記念公園では、原爆ドームを見たり、ガイドさんの話を聞いたりしました。原爆ドームはとても迫力がありました。もともと左右対称の建物が原爆によって半分以下になったと知り驚きました。世界遺産として、これからも原爆の悲惨さを伝えていく遺産だと思います。

5 広島平和記念資料館見学

広島平和記念資料館は、平和記念公園の中にある資料館です。資料館の中には、被爆して亡くなった方の服や、まだ当時の中身が入った弁当箱が展示されていました。また、道端に倒れている亡くなった人の写真、山になった骸骨の写真が展示されていました。この写真をみて、無差別に人が亡くなるのはとてもひどいことだと改めて思いました。また、展示室にあったタッチパネルには、今までの全ての平和宣言、平和への誓いを見ることができました。今と昔は文章の形が少し違いましたが、伝えたいことは同じだと思いました。

6 被爆体験講話

資料館を見学した後は、波田保子さんの被爆体験講話を聞きました。疎開の生活は、ご飯が少なく、ずっと働いて、おまけにお風呂はぜんぜん入れなかったことがわかりました。

また、被爆した人は、どんどん痩せ細っていき、かなり弱ると言うことが放射

線の恐ろしさだと思いました。被爆した直後はもちろん、その後もずっと生き抜いてこられた方のお話にも、諦めずに前を向く気持ちの大切さを感じました。

7 研修をとおして学んだこと

僕が研修を通して学んだことは、戦争の恐ろしさです。実際に式典に参加したり、被爆体験のお話を聞いたりしたことで、改めて戦争は2度としてはいけないと思いました。僕が出来ることはあまりないかもしれませんが、今回の研修で学んだことを周りの人に伝え、戦争のない世の中の実現に少しでも貢献したいと思いました。原爆投下から77年、広島は、戦争の後の、人々の諦めない心でできていると思いました。僕も困難に出会っても立ち向かい、諦めない心を大切にして、これから頑張っていきます。
